

池田市長が無投票で再選

池田市政二期目スタート



▲ 11月21日、当選証書が付与されました

任期満了に伴う中野市長選挙は11月13日に告示され、立候補届け出締め切りの午後5時までに、池田茂さん（中央一丁目・63歳）以外に立候補の届け出がなかったため、無投票となりました。11月21日、選挙会を開催して、同氏の当選を決定しました。

11月24日に 二期目の初登庁

11月24日、池田市長が、市役所玄関前と市民ホールに集まった市民の皆さんや市職員らの拍手に迎えられ、二期目の初登庁をしました。

続いて行われた就任式では、職員に対し「現場力、自治体経営など新しい感覚を大切に、市民の皆さんに本当に喜んでいただける市の将来展望を共に描いていきましょう」と、あいさつしました。

その後は、就任記者会見や北信広域連合、北信保健衛生施設組合、岳南広域消防組合で訓示を行うなど、初日から精力的に公務をこなし、市民の期待を担う池田市政二期目がスタートしました。



就任のごあいさつ

中野市長 池田 茂

このたび、引き続き二期目の市政を担うことになり、あらためて責任の重大性を強く感じています。

中野市を取り巻く環境は、人口減少と少子高齢化の中で厳しいものがあります。そうした中で、これからも、安心して暮らせるまちづくり、元気で活力あるまちづくりを進めていくことが市政のあるべき姿だと思います。

一期目では第二次総合計画ならびに中野市「まち・ひと・しごと」創生総合戦略を取りまとめました。計画の主眼は、作ることが目的ではなく、計画に沿って着実に事を進め、達成することにあります。

就任二期目に当たって

基本的な取り組み姿勢として、開かれた市政、公平公正な市政を基本に、住んでよかったといえる中野市にしたいと考えています。

この二期目では長期的視座に立って、将来にわたって活力ある中野市をつくるため、戦略課題に着実に取り組み、まいりたいと考えています。

○農業振興施策について

六次産業化の推進と販売促進はもちろんのこと、人材育成支援と遊休荒廃農地の活用に一段の取り組みを展開します。

○観光施策について

観光拠点整備を着実に進め、情報発信を一層強化することで、多くの方に中野市を知っていただき、中野市のブランド化を一層進めたいと考えています。

○人口増加策について

潜在的移住希望者の掘り起こしと、起業者の誘致に取り組みます。

○公共施設について

長期的展望をもって戦略的有効活用を視野に入れながら、再編・整備・活用に努めます。基本は負担を最小限に最大の効果を上げることです。また、高齢化社会を見据えた、歩道整備、公園など生活空間の整備、スポーツ環境の整備についても、具体的指針をお示しする中で、計画的に展開していきたいと考えています。

○子育て・教育・健康・福祉について

より一層の向上を図るべく、現場や市民の皆さんのご意見をお聴きする中で、安心しかつ安全に暮らしやすい中野市づくりを目指してまいります。



▲職員を前に就任のあいさつ

魅力あるまちには人が集まってくる。中野市に足らないもの、中野市だからできること、中野市の魅力づくりに邁進することをお誓い申し上げます。二期目市長就任に当たってのご挨拶とさせていただきます。